

6-15 GEONETにより観測された2009年8月11日の駿河湾の地震の地震時変動  
**Coseismic Step caused by the Suruga Bay earthquake on August 11, 2009,  
 observed by GEONET GPS network**

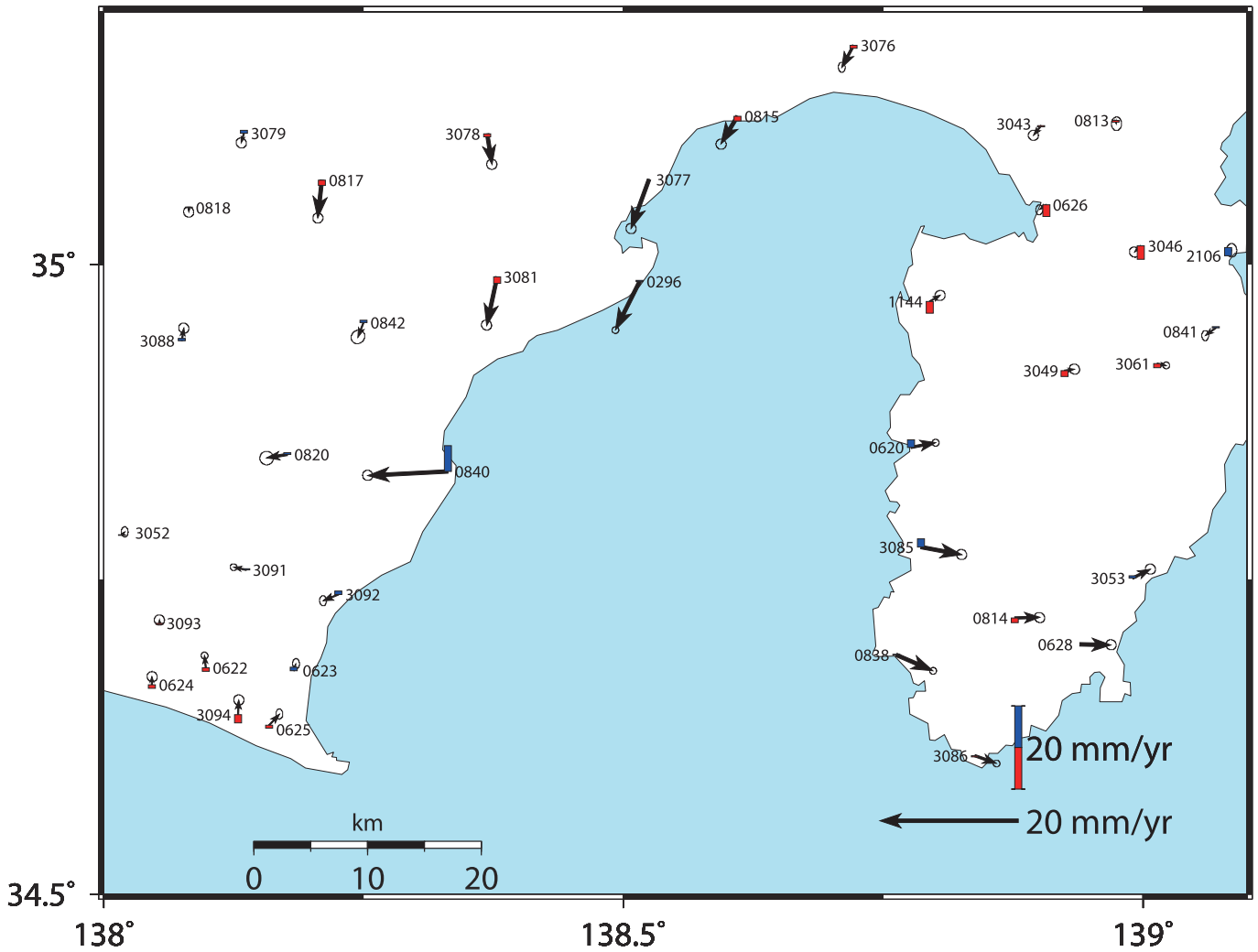
防災科学技術研究所  
 National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

防災科学技術研究所の自動解析によって検出された2009年8月11日の駿河湾の地震(M6.5)時の、GEONET観測網において検出された地震時ステップについて報告する。解析は、GAMITプログラム10.35により行い、防災科学技術研究所において稼働しているGEONET全点自動解析システムによる解析解を用いた。地震時ステップを導出するために用いた観測期間は、地震前が世界時の2009年7月11日から8月9日、地震後が世界時の2009年8月11日から9月9日である。解析にはIGS予測暦を用い、座標基準点として用いたIGS観測点は、TSKB(つくば)・USUD(臼田)・BJFS(北京)・SHAO(上海)・TWTF(台湾・桃園)・GUAM(グアム)の6点である。第1図に、震央周辺域の地震時の水平及び上下変動を水平成分については2σの誤差とともに示す。また、第1表にこのなかで変動の大きかった観測点の水平及び上下変動量を示した。

(島田誠一)

第1表 主なGEONET観測点の2009年8月11日の駿河湾の地震の地震時変動量  
 Table 1 Coseismic step value of the August 11, 2009, Suruga Bay earthquake observed by some of the GEONET GPS sites.

観測点	南北 (mm)	東西 (mm)	上下 (mm)
0840 (焼津A)	-0.6	-11.6	12.3
0296 (清水市2)	-7.0	-3.5	0.5
3081 (静岡3)	-7.0	-1.5	-3.1
3077 (清水市1)	-7.1	-2.6	0.0
3078 (静岡2)	-4.4	0.7	-1.5
0815 (蒲原)	-4.0	-2.4	-2.2
0838 (南伊豆A)	-2.3	5.3	0.3
3085 (西伊豆)	-1.1	5.9	4.0
0814 (下田2)	0.1	3.6	-2.2
3086 (南伊豆2)	-1.1	3.1	-0.7



第1図 2009年8月11日の駿河湾の地震の震央周辺域の GEONET 観測点の地震時水平及び上下変動. 水平変動の誤差楕円は  $2\sigma$  (95%) の誤差を示す.

Fig. 1 Horizontal and Vertical coseismic step of the August 11, 2009, Suruga Bay earthquake at the GEONET sites near the epicentral region. Horizontal error ellipse indicates 95% confidential level.